

事務事業名	緊急通報システム整備事業		所属部局	保健福祉部		単位番号	T464				
			所属課室	介護福祉課		課長名	樋口敏明				
	☐ 実施計画事業		所属担当	高齢者福祉担当		担当者名	川崎誠一郎				
基本政策	基本計画体系	IV	快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策		17	社会福祉の充実	事業区分	04	介護	04	02	02	006	04
施策		29	高齢者福祉の充実								
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 年度)			法令根拠	南アルプス市緊急通報システム整備事業実施要綱						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載				事業費の主な内訳 (24年度 決算見込)						
	緊急通報システム整備事業(ふれあいペンダント)として、65歳以上の在宅のひとり暮らし高齢者が急病又は事故等の緊急時に消防本部に連絡できる緊急通報システム端末装置、ペンダントを貸し出す				項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)						
	緊急ボタンを押すと消防本部へ通報され、異常のある場合は消防本部、協力員が連絡をとる救助・援助を行う				保守委託 2,904 備品購入 1,344						
					修繕 283						
					通信運搬 115						
				保険料 89							
				計 4,735							

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
24年度活動実績	申請受付 設置・撤去立会い、登録台帳整備(未撤去調査)
25年度活動予定	申請受付 設置・撤去立会い、登録台帳整備(未撤去調査)
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
65歳以上の在宅ひとり暮らし高齢者	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
高齢者の日常生活の安全の確保と不安の解消	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
ひとり暮らし高齢者が在宅で安心して暮らせる	

⇒ ⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
新規申請件数	件
⇒ ⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
65歳以上在宅ひとり暮らし高齢者数	人
⇒ ⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
設置台数	台
通報件数	件
⇒ ⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
高齢者支援に対する満足度(市民アンケート)	%

(2) 事業費・指標の推移				単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算見込・実績)	25年度 (予算・目標)	26年度 (次年度計画・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円	4,214	4,735	5,679	5,679			
	事業費計 (A)		千円	4,214	4,735	5,679	5,679	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1				
		延べ業務時間	時間	60	60	60	60				
		人件費計 (B)	千円	238	238	238	238	0	0	0	
		(A)+(B)		千円	4,452	4,973	5,917	5,917	0	0	0
活動指標		アイウ		28.0	23.0	25.0	25.0				
対象指標		アイウ	人	2,059.0	2,188.0	2,188.0	2,188.0				
成果指標		アイウ	台 件	273.0 21.0	260.0 30.0	300.0 30.0	300.0 30.0				
上位成果指標		アイ	%	25.7	30.0	30.0	30.0				

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	合併前より開始
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	ひとり暮らし高齢者の増加に伴い、申請件数は増加しており、今後も増加していく見込み。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	取り付けてであると安心する。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	☒ 取り組みしている ⇒【内容↓】 ☐ 取り組みしていない ⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	高齢者福祉システムの導入による、利用者情報の管理
③ H 24年度に実施した改革改善の内容	電池切れ通報による対応の消防署との協議。緊急連絡先の確認。端末機の統一による通報時間の短縮。

事務事業名	緊急通報システム整備事業	所属部	保健福祉部	所属課	介護福祉課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 市の高齢者福祉計画にも一人暮らし高齢者の見守りは位置づけられている
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 高齢者の見守りとしての事業であり、実施主体は市であることが必要 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 ☐ 民間・NPO ☐ 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 広域での実施等、検討の余地はあるが現在の状況では継続
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 システム化により、スムーズに設置撤去ができるようにしている
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☐ 休止・廃止ができる ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 高齢者の見守りとして必要 高齢者の見守りとして必要
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 センター装置及び端末機の購入・保守等、適切に実施している
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 システム化により、スムーズに設置撤去ができるようにしている
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 設置費用は無料だが、通話料・電気料は利用者負担である

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	見守りが必要な高齢者単独世帯の対象者には有効な事業であり継続すべき

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>☐</td> <td>☒</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>☐</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	☐	☐	☐																		
	維持	☐	☒																			
	低下	☐																				
(2) 改革改善案について																						
① ② ③																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																					
① ② ③	成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																					